

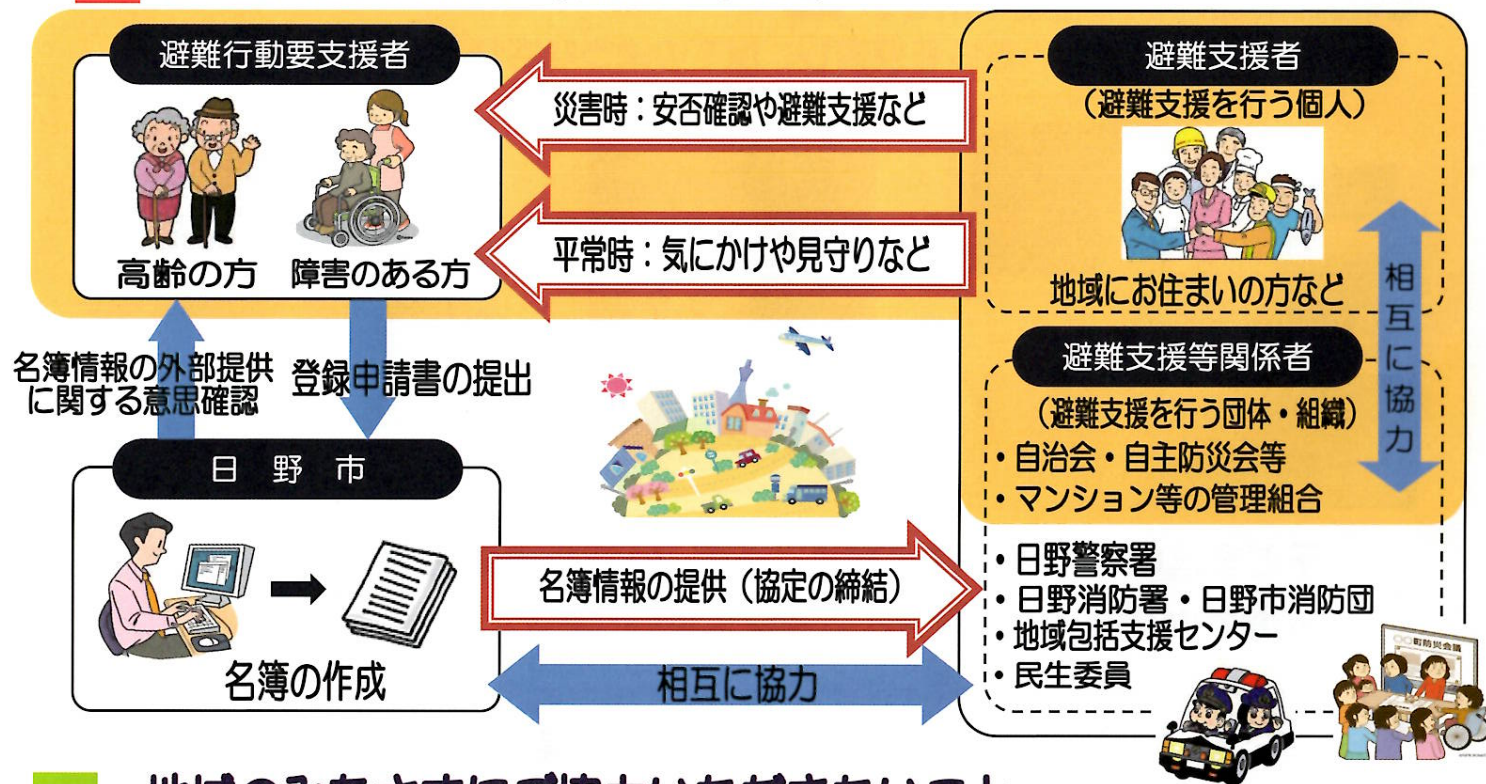
地域の防災活動にご協力をお願いします

地域のみなさまへ

高齢者や障害者など『災害時に助けてほしい!』と自ら意思表示をした人たちがいます。日野市では、そのような人たちの名簿（避難行動要支援者名簿）を作成し、自治会や自主防災会などの地域に提供し、地域で「見守り」「助け合う」体制づくりを進めているところです。今後もより多くの地域に名簿を提供し、地域主体の防災活動の取組みを広げていきたいと考えています。

災害などのいざという時に、地域全体で助け合うことのできるまちづくりを市と一緒に進めていきましょう!

避難支援の流れ（制度の概要）



地域のみなさまにご協力いただきたいこと

- ①市が提供する名簿の受取りをお願いします。
※制度の概要や名簿の受取り方法などは、下記の間合せ先にご相談ください。
※必要に応じて個別に説明に伺います。
- ②名簿を活用した地域の避難行動要支援者の「見守り」をお願いします。（平常時）
- ③名簿を活用した避難行動要支援者の避難支援や安否確認をお願いします。（災害時）
※名簿を活用して行う具体的な取組内容については、下記の間合せ先にご相談ください。

■ 問合せ先 電話：042-585-1111（代表）

日野市 総務部	防災安全課	内線7745・7746
健康福祉部	高齢福祉課	内線2422・2423
健康福祉部	障害福祉課	内線2321・2322

地域かわら版

平山中地区版

H28年
通算第19号



■発行日/平成28年5月
■発行・編集/日野市企画部地域協働課
〒191-0011 日野市日野本町1-6-2
■電話/042-581-4112

右：平山小学校 五十嵐校長先生
左：平山小学校学校支援コーディネーター 根津さん

地域がつながるフリーペーパー

「地域かわら版」は、中学校区別で発行している地域情報誌で、地域で活動している取組を紹介しています。
この地域かわら版を読み、「こういう活動をしている人がいるんだ」と知ること、「今度行ってみようかな」と参加すること、「自分も何か活動してみようかな」と行動することのきっかけになれば幸いです。

アクションプラン

地域懇談会では、これまで地域の課題を地域の人々で解決するためのアイデア「アクションプラン」を、地域の人々で考えてきました。平山中地区の課題として出されたものは、防災や高齢化といったものでした。しかし、突き詰めて考えると、地域の課題の根底にあるものは、「人びとのつながりが希薄」ということから、「(仮題)拡張平山地域懇談会」を開催し、もっと交流を深めようということになりました。

平成28年度、いよいよアクションプランが動き始めました。地域の方々が地域のことを考え、課題を乗り越えて行く。そのような地域になれるよう、小さな一歩を踏み出してみませんか。





たくさんの大人がかわることによる、安定した
「子育て環境」を目指し、学校と地域をつなぐ取り組み

平山小学校支援ボランティア組織

「虹のかけはし」

皆さんは、「学校」をどんな場所だとお考えでしょうか？
ただ、子どもが「勉強」だけを学ぶところでしょうか？いいえ。学校は勉強だけでなく、豊かで多様性に富んだ環境の中から良質な経験を得、子どもが社会的・情緒的に良好な発達が遂げられるようサポートする場、「子育て環境」の軸であると考え、私どもは活動しております。

その良好な「子育て環境」を保持するために、今、求められているのは、学校と地域人材との積極的な連携「学校支援ボランティア」人材の発掘です。

奇数月の1日～3日は朝の挨拶運動を行っています。
教員、PTA、育成会や地域の方々など、たくさんの大人が、子ども達の登校を見守り
「おはようございます」と、声をかけます。
まだまだ、返事の出来ない子もいますが、
「たくさんの大人が、自分を見守ってくれているんだ」という実感は、子どもの情緒発達に大きく作用します。



学校生活の日常で、多様性に富んだ人とのかかわりの機会を提供することで、
社会性の発達から、更には「生きぬくちから」の向上を目指したい！

挨拶運動だけではなく。クラブ活動時や放課後の時間を学校で過ごす子ども達にむけ、
学校側のニーズに応じた、様々な経験値をお持ちの地域の方々をつなぐ「橋渡し」を行っています。



異学年が一緒に楽しむ
昔遊びやスポーツ体験

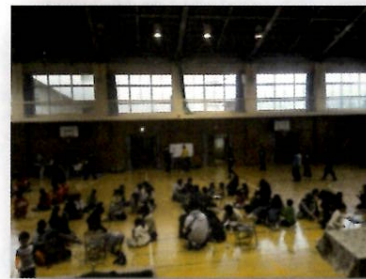
普段なかなか体験できない
伝統文化や地域の歴史に
触れる機会



地域の「人的資源」との結びつきは
子ども達の学びの幅を広く豊かにし、
他者との「協働」が自然と身につけていきます。



「人とのかかわり」を促す積極的な活動は、子ども達だけでなく、
孤独になりがちな、保護者世代にも有効と考えます。
子育ての先輩方や、同じ保護者同士との会話から
「安心」や「同調」「反省」そして「気づき」が得られ、
溜め込んでいたストレスの解消にもつながります。



また、地域の方々と学校関係者や保護者が少しでも顔見知り
になることで「防犯対策」「自然災害時の協働」などを始めとし
た有事における抑止や速やかなる初動にもつながると考えてお
ります。

減災への取り組み「ひらやま減災ウォークラリー」の様子

子育ては、世代から世代への「レ」。
自身の経験を、次代へつなぎ、地域皆で、未来ある子ども達を育てていく。
その活動拠点が「学校」であるように…

子ども達との触れ合いを模索し、以下のような活動もしております。



掃除用具を手作りしたり
一緒にお掃除をしたり



月1回の読み聞かせ



学校花壇の整備や
理科委員会への協力

子ども達の育成の一助となるような、学校や先生方の求めに応じた
支援を心がけ、これからも活動してまいります。

平山小学校は、コミュニティ・スクールです。学校を支えてくださっている多くの方々
に感謝しながら、未来につなげていく学びを進めています。

日々の教育活動の中では、平山地域の歴史・伝統や、豊かな自然の恵みに触れる機会
を多く取り入れています。また、予測される自然災害とその対応を考える「生きぬく科」
の探究学習などを通して、未来の平山のまちの担い手となる子どもたちを育てています。



「生きぬく科」で平山地域を探究する子ども達



地域懇談会で防災の必要性を発表する子ども達

平山小学校は
未来のまちの担い手
となる子どもたちを
育てています